

気になるところに密着、  
まっさらに冴えわたるような透明感を目指す集中※1美白※2美容液  
新『ホワイトショット SXS』誕生

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川 美紀）は、「ホワイトショット」ブランドより、気になるところに密着、まっさらに冴えわたるような透明感を目指す集中美白美容液『ホワイトショット SXS（【医薬部外品】：20g ¥13,200<税抜 ¥12,000>）を2022年1月26日に発売します。

ポーラは創業当時から、美白を追究し続けています。ポーラの美白※2※3ブランド「ホワイトショット」は、メラニンというミクロな視点にとどまらず、ヒトのからだ全体や生活環境まで着目したマクロな発想により研究を行い、業界初の美白理論を次々と発見しています。

今回ポーラは、何をしても消えない、一度消しても繰り返し出てきてしまうしつこい“不屈シミ”※4に着目。このしつこい不屈シミの一因が、紫外線だけではなく、肌の奥の神経にもあることを発見しました。

輝くような肌※5をサポートする、ポーラオリジナル複合美容成分※6「Nクリアエキス」※7を新たに配合したほか、ポーラオリジナル美容成分「SCリキッド」、肌の透明感をサポートするポーラオリジナル複合成分「ルシノール®EX※8（2種類の美白有効成分+美容成分）」、ポーラオリジナル複合美容成分「m-Aクリアエキス」、「クリアノール」、「m-シューター」を配合。肌に密着性の高いクリームで、肌表面にスポット膜※9を形成する「SXSショットデリバリー処方」を採用し、メラノサイトと親和性の高いエマルジョンにより、美白※2有効成分がメラノサイトに届くようにサポート。浸透※10カプセルを新たに配合しています。こっくりとしたクリームが気になる部分に軽やかに心地よく広がって溶け込むように馴染み、肌に一体化するように密着。その後のスキンケアやメイクを邪魔しない、サラッとした感触のスポット膜を形成します。

全国のポーラ ビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラザビューティー」約640店舗を含む約3800店のポーラショップ、旗艦店「ポーラギンザ」、全国有名百貨店等ポーラコーナー68店舗（2020年末時点）、日本国内空港免税店コーナー12店舗、ポーラ公式オンラインストア（net.pola.co.jp）にてお取り扱いします。海外では、中国大陸、香港、台湾、マカオ、タイランド、シンガポールの6つの国と地域、韓国の免税店にて順次発売予定です。



2022年1月26日発売

## ホワイトショット SXS

販売名：WSエッセンスSXS

【医薬部外品】（美白美容液）

20g 13,200円（税抜 12,000円）

◆無香料・無着色

◆アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

※1：気になる部分に集中して使いやすい剤型 ※2：メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。 ※3：メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。 ※4：何をしても消えない、一度消えても繰り返し出てきてしまうしつこいシミのこと。ポーラが名付けた。 ※5：角層  
※6：保湿成分 ※7：ヒメフウロエキスと水添大豆リン脂質の複合成分  
※8：美白有効成分「ルシノール®」と「ビタミンC誘導体」に、美容成分マジョラムエキス、クジンエキスクリア、ショウキョウエキスを加えたポーラオリジナル複合成分  
※9：3つの浸透カプセルが点在している処方膜のこと ※10：角層まで

### 【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドクリエイティブ部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3  
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

### 【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

**POLA**

White shot

## 雑音は、輝きの邪魔になる。

UVケアをしているのに。

どうして、シミから逃れられないのか。

頬のシミは、しつこく追いかけてくるのか。

大きな敵は、紫外線と考えられてきましたが、

今、ポーラは新しく発見しました。

しつこいシミは、肌の奥深くの

密集した神経が関係していた。

神経から放出された、メラノサイトに

働きかける物質が過剰になってしまう。

その状態を「アグレッシブノイズ」と、

私たちは名づけました。

自らの輝きを、どこまでも信じる。

その願いに寄り添う、サイエンスでありたい。

ポーラがつくると、ブライトニングはこうなる。

**業界初、頬に集中する「アグレッシブノイズ」を提唱。**

**ポーラ ホワイトショット SXS 誕生。**

**POLA**

White shot

## すべての輝きを、救え<sup>※1</sup>。 ホワイトショットの歴史と進化

ポーラは創業当時から、美白を追究し続けています。  
ポーラの美白<sup>※3※8</sup>ブランド「ホワイトショット」は、  
メラニンというミクロな視点にとどまらず、  
ヒトのからだ全体や生活環境まで着目したマクロな発想により研究を行い  
業界初の美白理論を次々と発見しています。

今回、新たに神経に着目し、  
なかなか消えることがない、多くの人の悩みである“不屈シミ”<sup>※2</sup>には、  
肌の奥の密集した神経が関係していたことを発見しました。

すべての輝きを、救え。  
新『ホワイトショット SXS』が誕生します。

〈研究領域も進化を重ね、広く・深く〉

CXS:「肌の濁り3因」を提唱。  
スキンプロテクター DX:肌が本来持つ「セルフシールド機能<sup>※10</sup>」に着目。

LX・MX:新規美白<sup>※8</sup>有効成分「PCE-DP<sup>※9</sup>」を配合。  
RXS:業界初「暑さヤケ<sup>※7</sup>」に着目。

業界初  
肌が本来持つ「アライブクリア機能<sup>※6</sup>」に着目。

業界初  
肌が本来持つ「セルフクリア機能<sup>※5</sup>」に着目。

業界初  
「ルシノール<sup>※4</sup>」とビタミンC誘導体の  
ダブルの美白有効成分を配合。

業界初  
美白<sup>※3</sup>有効成分「ルシノール<sup>※4</sup>」を配合。  
ホワイトショット誕生。

1951年 ペキュリアコールド  
ここからポーラの美白の歴史が始まりました。

1998年 ルミエラホワイトティンモ  
ホワイトショット

2011年 ホワイトショット  
クリアセラム

2015年 ホワイトショット  
CX・SX

2018年 ホワイトショット  
LX・MX・RXS

2019年 ホワイトショット  
CX  
ホワイトショット  
スキンプロテクター DX

2021年 新ホワイトショット  
SXS

2022年

ヒト全体を捉えた美白研究

生活環境をまるごと捉えた美白研究

ヒトに眠る力を自覚めさせる

発想の転換。マクロな視点で捉えた肌研究

ヒト本来の美しくなる力に着目

抑制・美白阻害要因を抑える

- ※1:個性という輝きの原石を持つ世界中の人々を応援するポーラからのメッセージ。
- ※2:何をしても消えない、一度消えても繰り返し出てきてしまうつこいシミのこと。ポーラが名付けた。
- ※3:メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。
- ※4:4-n-ブチルレゾルシン
- ※5:表皮細胞内のメラニンキャップ(メラニンの塊)を分解する、肌そのものが持つ機能を、ポーラが名付けた。
- ※6:メラノサイトを移動させ、供給するメラニン量を適切にする機能を、ポーラが名付けた。
- ※7:夏特有の紫外線以外の事象「暑さ」にも夏のヤケやすさの原因があることを、ポーラが名付けた。
- ※8:メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。
- ※9:デクспанテノールLW
- ※10:ヒトの肌が本来持つ、日焼けから肌を守る力を、ポーラが名付けた。

POLA

White shot

気になるところに密着、  
まっさらに冴えわたるような透明感を目指す集中<sup>\*1</sup>美白<sup>\*2</sup>美容液

## 新『ホワイトショット SXS』 誕生

ポーラは、何をしても消えない、一度消しても繰り返して出てきちゃう  
しつこい“不屈シミ”<sup>\*3</sup>に着目。  
このしつこい不屈シミの一因が、紫外線だけではなく、  
肌の奥の神経にもあることを発見しました。

新たにポーラオリジナル複合美容成分<sup>\*4</sup>を配合した、こっくりとしたクリーム状の美容液が  
気になる部分にジュワっとなじみ、冴えわたるような透明感を目指します。

2022年1月26日発売

### ホワイトショット SXS

販売名:WSエッセンスSXS

【医薬部外品】(美白美容液)

20g ¥13,200(税抜¥12,000)

- ◆無香料・無着色
- ◆アレルギーテスト済み  
(全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません)



#### デザイン

サインをイメージした手書き風のロゴは、積極的に肌を変えようとする人に、真摯に応えるブランドの強い意志を表しています。アクセントは、悩みを可能性に変える転換の希望、太陽に向かって飛び立っていくような前向きさを表現した「スパークルイエロー」です。

※1:気になる部分に集中して使いやすい剤型 ※2:メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。  
※3:何をしても消えない、一度消しても繰り返して出てきちゃうしつこいシミのこと。ポーラが名付けた。 ※4:保湿成分

**POLA**

何をしても消えない、一度消えてもまた出てきてしまう“不屈シミ”※の悩みに着目

ポーラは今回、「シミが何をしても消えない、一度消えてもまた出てきてしまう」という多くの方の悩みに着目し、しつこい“不屈シミ”の原因を追求しました。



- 同じ場所にばかりシミができてしまう。
- ケアをしているのに顔のシミがなかなか消えない。

- UVケアをしているのにどうしてシミができるんだろう。
- レーザーをやっているのに、またシミが復活してしまう。
- ニキビ跡などの色素沈着が気になって気分が落ち込む。

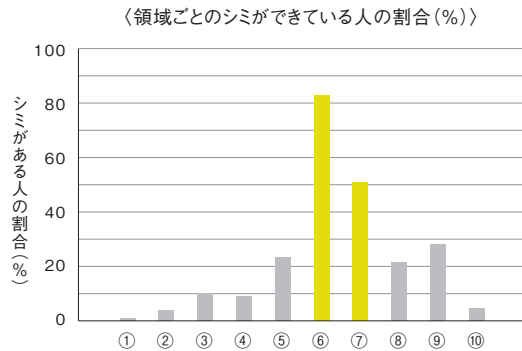
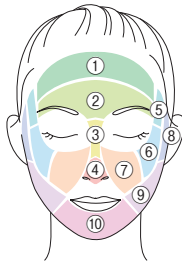
※ 何をしても消えない、一度消えても繰り返し出てきてしまうしつこいシミのこと。ポーラが名付けた。

着目

シミの最もできやすい領域は「頬」

顔を10か所の領域に分割し、35～69歳の女性を対象に、シミがどこにできているかを調査した結果、下記のグラフの通り、シミは頬(⑥、⑦の領域)で顕著に多いことがわかりました。

アンケート調査  
半顔を10領域に分割し  
シミができていない領域を選択

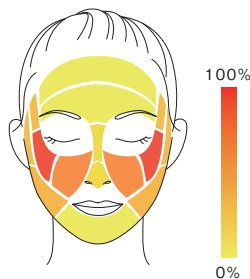


アンケート対象:35～69歳女性(n=206) (ポーラ化成工業 研究所調べ)

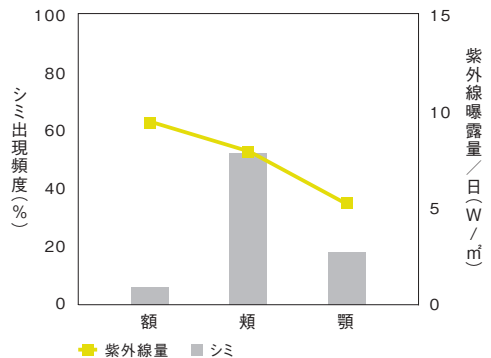
紫外線が多く当たる領域とシミのできやすさは一致していない

顔の領域ごとの1日当たりの紫外線の曝露量(どのくらい紫外線にさらされているか)を調査したところ、紫外線は頬よりも額に最も多く照射されていることがわかりました。紫外線が最も多く当たるのが額で、シミが最もできやすい領域は頬であるという矛盾から、シミの原因が紫外線だけでないことがわかります。紫外線のほか炎症、加齢などがシミの要因として既に知られていますが、それらをケアしてもなお、特定の領域にシミができてしまうのは、今までアプローチしてこなかった他の要因があるのではないかと考えました。

〈シミができていない領域のヒートマップ〉



〈顔の各領域のシミ出現頻度と紫外線曝露量〉



※ 人顔型ドールにUV測定器を貼り付け、地面からの跳ね返りの影響を  
実生活に近づけるため高さを調整し、回転させ満遍なく露光。

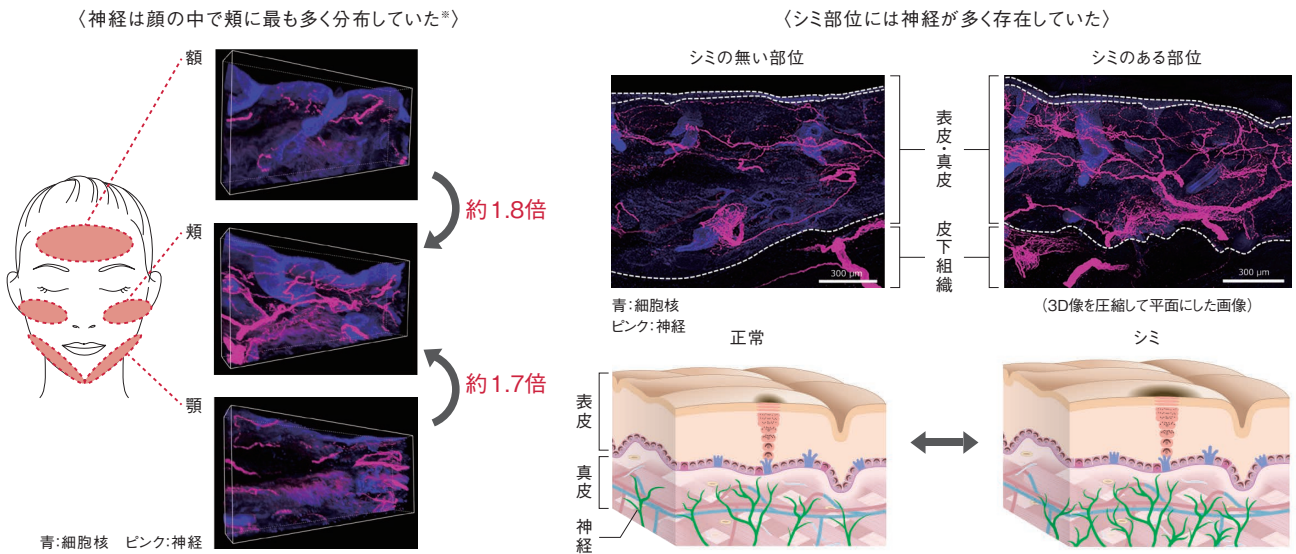
(ポーラ化成工業 研究所 調べ)

新着目

神経は顔の中で頬に最も多く分布／シミ部位には神経が多く存在

これまで解明できていなかったシミの新たな原因を探索している中で、シミと皮膚の神経との関係に着目しました。顔の各部位における皮膚内の神経を3次元で観察した画像を見てみると、シミのできやすい頬では、神経が多く分布していることがわかります。このことから、シミのできやすい領域には神経が多く存在し、神経が何かしらの影響を与えていることが考えられます。

実際にシミができていない部位と、シミのない部位の頬の皮膚内神経を観察した画像を見てみると、シミの部位には神経が多く存在していることがわかり、シミは神経の多く集まる領域でできてしまうことが考えられます。



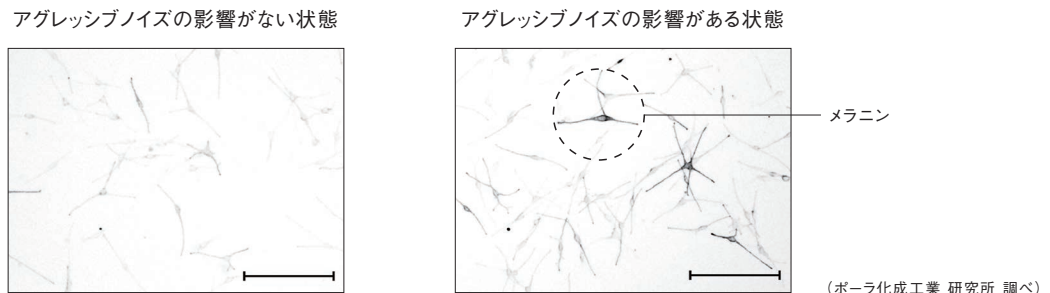
(ポーラ化成工業 研究所 調べ) ※イラストはイメージです

※ 参考リリース:シミはなぜそこができるのか 皮膚深部に潜むシミ形成の決定要因 (ポーラ・オルビスホールディングス)  
[http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release\\_20201016\\_03.pdf](http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release_20201016_03.pdf)

新発見

神経からの影響が不屈シミ※をつくり出していた

神経が多く集まることでシミができる理由は、神経が密集することで、神経から放出された、メラノサイトに働きかける物質が過剰になる状態にありました。私たちはこの現象を発見し、「アグレッシブノイズ」と名付けました。レーザーで治療をしてもまた復活してしまう不屈シミは、神経のアグレッシブノイズが原因と考えられます。下のデータは、神経からの影響が高まり、アグレッシブノイズとなることで、メラノサイトでのメラニンの産生が増加していることを示す画像です。アグレッシブノイズの影響がある状態では、シミのもととなるメラニンが多く産生され黒くなっていることがわかります。



(ポーラ化成工業 研究所 調べ)

※ 何をしても消えない、一度消えても繰り返し出てきてしまうつこいシミのこと。ポーラが名付けた。

White shot

[ 製品特長 ]

成分

透明感のある肌をサポート

◆輝くような肌をサポート: **NEW** ポーラオリジナル複合美容成分\*1「Nクリアエキス」\*2、  
ポーラオリジナル美容成分SCリキッドを配合。

◆肌の透明感をサポート: ポーラオリジナル複合成分ルシノール®EX\*3(2種類の美白有効成分+美容成分)、  
ポーラオリジナル複合美容成分m-Aクリアエキス、クリアノール、m-シューター配合。

※1: 保湿成分 ※2: ヒメフクロエキスと水添大豆リン脂質の複合成分

※3: 美白有効成分「ルシノール®」と「ビタミンC誘導体」に、美容成分マジョラムエキス、クジンエキスクリア、ショウキョウエキスを加えたポーラオリジナル複合成分

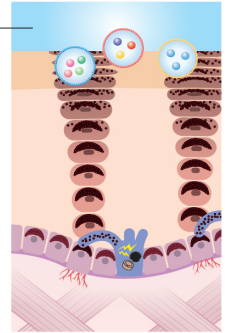
処方

密着性の高いクリームがスポット膜\*1を形成する SXSショットデリバリー処方

肌\*2に密着性の高いクリームで、肌表面にスポット膜を形成する処方設計。メラノサイトと親和性の高いエマルジョンにより、美白\*3有効成分がメラノサイトに届くようにサポート。浸透\*4カプセルを新たに配合。

進化系スポット膜  
気になる部分に密着し、とどまる。

肌のすみずみまで届ける  
m-シューター配合のカプセルや  
Nクリアエキス配合のカプセル、ルシノール®EX、  
クリアノール、SCリキッド、m-Aクリアエキス配合の  
エマルジョンが肌のすみずみまで浸透。



※1: 3つの浸透カプセルが点在している処方膜のこと

※2: 角層

※3: メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。

※4: 角層まで

感触

気になる部分にぴたっと密着しスポット膜を形成する「ショットカバー感触」

こっくりとしたクリームが気になる部分に軽やかに心地よく広がって溶け込むように馴染み、肌\*に一体化するように密着。その後のスキンケアやメイクを邪魔しない、サラッとした感触のスポット膜を形成します。

〈ご使用量の目安〉

気になる部分には、小さめの真珠1粒位、広くお使いいただく場合には片頬につき小さめの真珠3粒位がご使用の目安です。



※角層

ホワイトショット SXS ご使用方法

1

チューブから美容液を出して、気になる部分に小さめの真珠1粒位を置きます。



気になる部分に  
直置きできる斜めカット

2

美容液を浸透させるように、指の腹でやさしく押さえます。



3

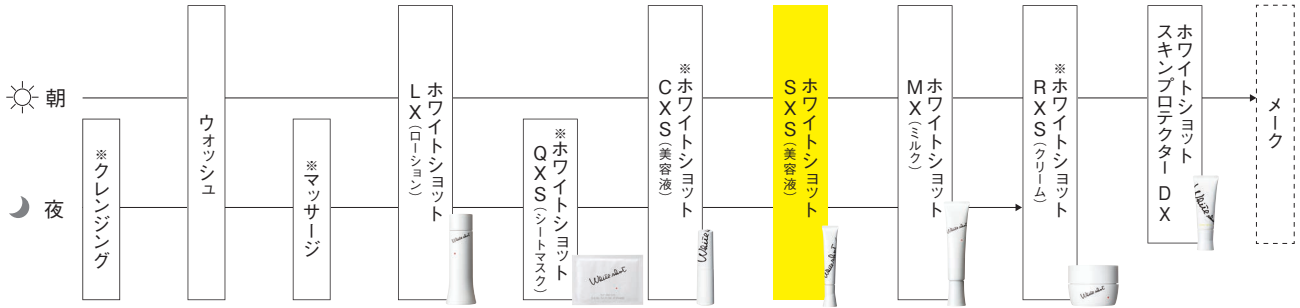
最後に、美容液を密着させるように、くるくるとやさしくなじませます。



White shot

[ 製品特長 ]

お手入れステップ



※肌の悩み、状態に合わせてお使いください。クレンジングは、メイク・UVカット品使用時は必ずお使いください。

主な配合成分

配合目的	配合成分	全成分表示名称
美白 <sup>※1</sup> 有効成分	ルシノール <sup>®</sup>	4-n-ブチルレゾルシン
	ビタミンC誘導体	アスコルビン酸2-グルコシド
保湿成分	Nクリアエキス <sup>※2</sup>	ヒメフウロエキス、水添大豆リン脂質
	m-Aクリアエキス <sup>※2</sup>	海藻エキス-1、ローズマリーエキス
	マヨラムエキス	マヨラナエキス
	クジンエキスクリア <sup>※2</sup>	クララエキス-1
	シヨウキョウエキス	シヨウキョウチンキ
	SCリキッド <sup>※2</sup>	ビワ葉エキス
	m-シューター <sup>※2</sup>	カクコンエキス、アロエエキス-2、クロレラエキス
	クリアノール <sup>※2</sup>	アーティチョークエキス、ユズセラミド
グリチルリチン酸2K	グリチルリチン酸2K	

※1：メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。 ※2：ポーラオリジナル成分、もしくはオリジナル抽出成分。

◆無香料・無着色 ◆アレルギーテスト済み (全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません)